

木津川市地域公共交通総合連携計画

(案)

木津川市

目 次

1. 地域公共交通総合連携計画に関する基本方針
2. 地域公共交通総合連携計画の目標
3. 地域公共交通総合連携計画の区域
4. 目標を達成するために行う事業及び実施主体に関する事項
5. 計画期間
6. その他

1. 地域公共交通総合連携計画に関する基本方針

木津川市は、平成 19 年 3 月に、木津町、加茂町、山城町の 3 町の合併により誕生した、人口 68 千人の京都府南部に位置する市である。

木津川市の公共交通には、鉄道、バス、タクシー等があるが、公共交通間の連携が不十分であることや、バスにおいては、地域に合ったサービスが提供されていない等の問題を抱えている。また、自動車依存度が高まりつつあり、主要道路では、混雑が生じている。

このことから、地域のニーズにあったサービスの提供を行い、活力と魅力ある地域づくりを目指す必要があり、公共交通が連携することにより、公共交通の利便性を向上させ、円滑な移動の確保を行う必要がある。

以上を踏まえ、木津川市の地域公共交通の基本方針を以下の通りとする。

- ① 地域特性に応じた利便性の高い地域公共交通システムを構築することにより、活力と魅力ある地域づくりを目指す
- ② 鉄道・バス・タクシー等が連携し、市民にとって利用しやすく満足度の高い持続可能な地域公共交通対策に取り組む

2. 地域公共交通総合連携計画の目標

木津川市内における地域公共交通の活性化と連携により、活力と魅力あるまちづくりを推進し、地域特性はもとより環境負荷の軽減、地域活性化、交通弱者等が安心・安全に移動できる生活環境の確保等に配慮した地域公共交通サービスの充実を図る必要がある。

このことから、地域公共交通総合連携計画の目標としては、公共交通が連携し、公共交通サービスを改善・推進するとともに、公共交通に関する情報提供を充実・発信することにより、より多くの人に公共交通を利用してもらうこととする。

数値目標としては、上位計画となる木津川市総合計画中間案の成果指標との整合から、利用者数を用いることとし、以下のように設定した。

表 数値目標（木津川市総合計画中間案の成果指標より）

	平成 20 年 (現状)	平成 25 年	平成 30 年
利用者数（年間）	38.5 万人	39 万人	40 万人

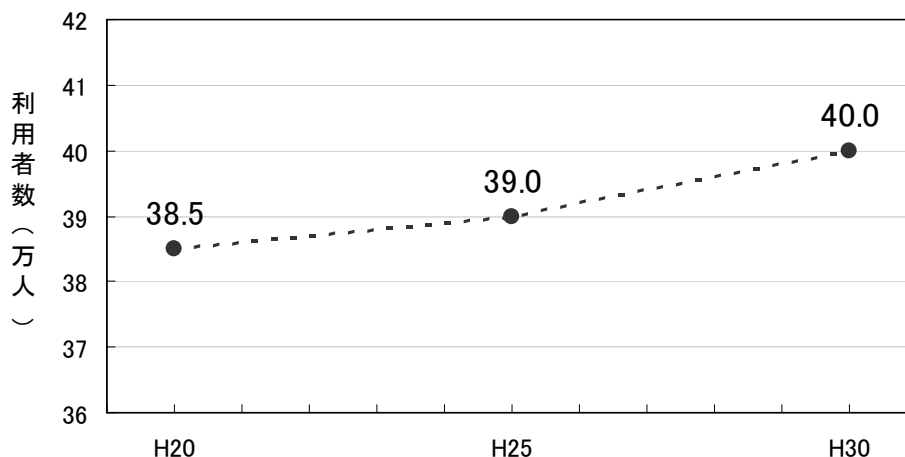


図 数値目標

3. 地域公共交通総合連携計画の区域

木津川市全域とする

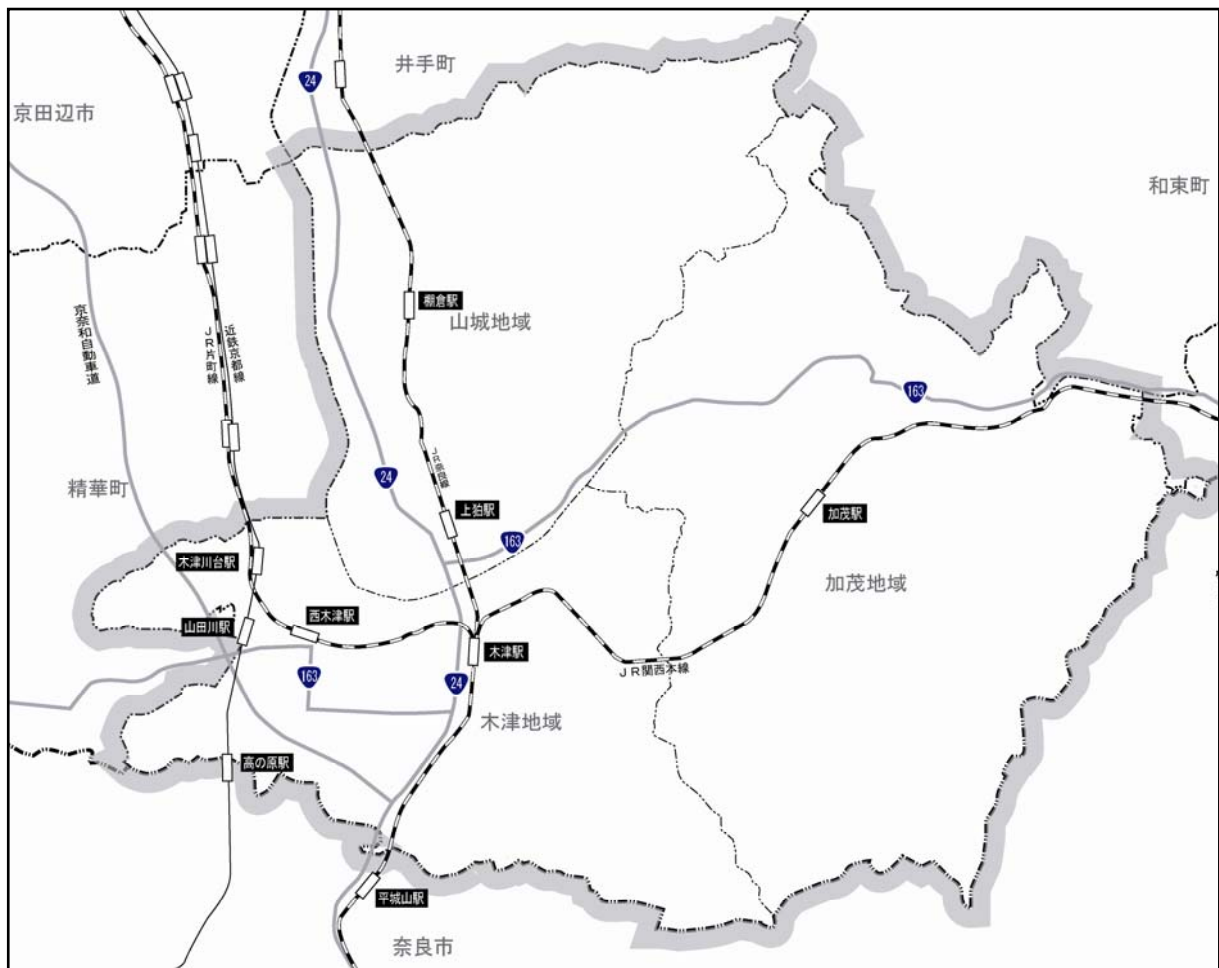


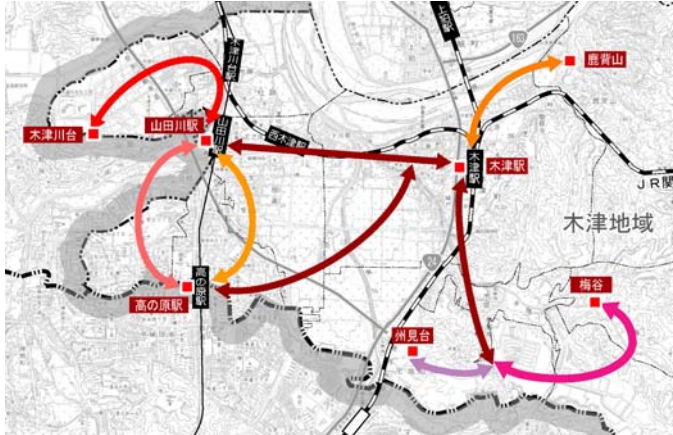
図 地域公共交通総合連携計画の区域（木津川市全域）

4. 目標を達成するために行う事業及び実施主体に関する事項

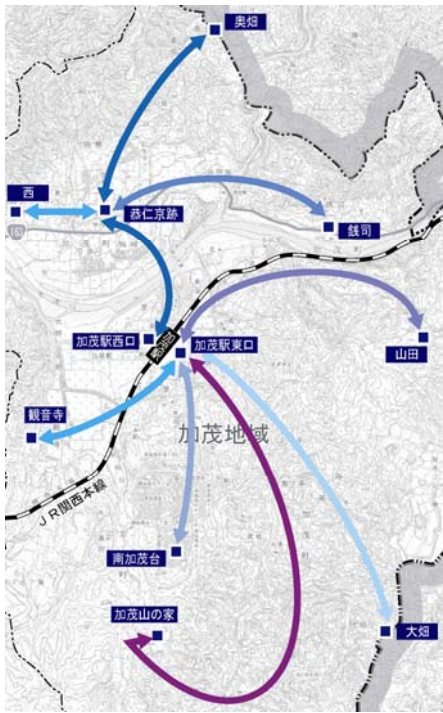
木津川市が抱える課題と目標を達成するために行う事業のつながりは、以下の通りである。

木津川市が抱える課題		①	②	③	④	⑤	⑥
		木津地域コミュニティバス 実証運行事業	加茂地域コミュニティバス 実証運行事業	山城地域コミュニティバス 実証運行事業	コミュニティバス車両導入 ・ラッピング化事業	交通結節点・バス停等 情報提供整備事業	公共交通 利用促進活動事業
コミュニティバス・福祉バス	運行形態の見直し ・旧町内のみの運行形態である ・一部ルートにおいて迂回している	○	○	○			
	サービスレベルの違い ・地域に合ったサービスが提供されていない ・わかりやすいダイヤが組まれていない	○	○	○			
	情報提供の不足 ・ルートやバス停位置がわからない（加茂地域） ・バス停がない（山城地域） ・時刻表等のバスに関する情報が収集しにくい ・コミュニティバスとわかりにくい車両を使用している				○	○	○
バスネットワーク	路線バスの不在 ・高麗線が休止した（山城地域）			○			
	路線バスとコミュニティバスの連携が不十分 ・ダイヤを別々に組んでいる ・それぞれでバス停を設置している	○	○	○		○	
公共交通ネットワーク	鉄道とバスの連携が不十分 ・改札周辺にバスに関する情報が提供されていない ・鉄道とバスの乗り継ぎがしにくい					○	
	駅前ロータリーの有効活用 ・主要駅ではロータリーが整備されており、有効活用が求められている					○	
人口・社会経済	人口への対応 ・常住人口が年々増加している ・高齢化が進んでいる地域がある	○	○	○			
	観光地の活性化 ・多くの観光地が存在する ・観光しやすい交通環境を整える必要がある		○				
	自動車利用増加による交通混雑の発生 ・自動車保有台数の伸びが著しい ・主要道路の混雑が顕著である	○	○	○		○	○

①木津地域コミュニティバス実証運行事業

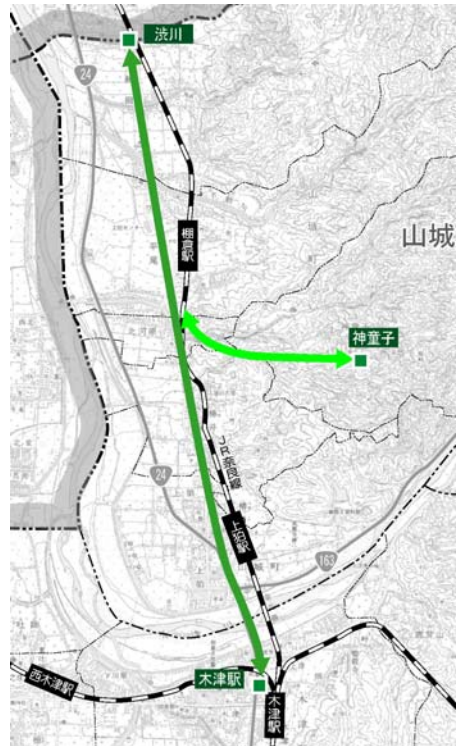
項目	詳細
事業計画 事業概要	<p>本格運行に向けて、バス事業者へ運行委託する方法で、木津地域においてコミュニティバスの実証運行を検討・実施する。</p> <p>運行回数：10 往復（20 便）/日程度 運行区間：鹿背山・梅谷・州見台～木津駅～山田川駅～高の原駅・木津川台 運賃：運行費用の負担を補う程度 使用車両：バス車両</p> <p>※事業の実施状況に応じて、実施主体も含め見直しをしていくものとする。</p> 
実施時期	平成 21 年～
実施主体	木津川市、奈良交通株式会社、木津川市地域公共交通総合連携協議会

②加茂地域コミュニティバス実証運行事業

項目	詳細
事業計画 事業概要	<p>本格運行に向けて、バス事業者へ運行委託する方法で加茂地域においてコミュニティバスの実証運行を検討・実施する。また、利用実態に応じて、小型車両を活用した予約型路線等新たな交通システムの導入について検討する。</p> <p>運行回数：4 往復（8 便）/日程度 運行区間：奥畑・銭司・西・山田 ・大畑・南加茂台 ・観音寺～加茂駅</p> <p>運賃：運行費用の負担を補う程度 使用車両：バス車両・タクシー車両</p> <p>※当尾地域を運行する路線については、以下の条件とする。</p> <p>運行回数：8 往復（16 便）/日程度 運行区間：加茂山の家～加茂駅 運賃：運行費用の負担を補う程度 使用車両：バス車両</p> <p>※事業の実施状況に応じて、実施主体も含め見直しをしていくものとする。</p> 
実施時期	平成 21 年～
実施主体	木津川市、奈良交通株式会社、株式会社ウイング、加茂タクシー株式会社、木津川市地域公共交通総合連携協議会

③山城地域コミュニティバス実証運行事業

項目		詳細
事業計画	事業概要	<p>本格運行に向けて、バス事業者へ運行委託する方法で山城地域においてコミュニティバス及び小型車両を活用した予約型路線の実証運行を検討・実施する。</p> <p>運行回数：7往復（14便）/日程度 運行区間：渋川～木津駅、 主要施設（渋川～木津駅間）～神童子</p> <p>運賃：運行費用の負担を補う程度 使用車両：バス車両・タクシー車両</p> <p>※事業の実施状況に応じて、実施主体も含め見直しをしていくものとする。</p>
	実施時期	平成 21 年～
	実施主体	木津川市、株式会社ウイング、東洋タクシー株式会社、木津川市地域公共交通総合連携協議会



④コミュニティバス車両導入・ラッピング化事業

項目		詳細
事業計画	事業概要	<p>コミュニティバスを運行する際、一部地域において、バス事業者の車両を使用する必要があるが、路線によっては、一般車両と判別が付きにくい車両を使用していることから、コミュニティバスとわかりやすい車両を導入する。</p> <p>また、木津川市が所有する車両を用いて運行しているコミュニティバスにおいても、バス運行の認知度及び利便性の向上のために、コミュニティバスのラッピング化等わかりやすい車両を検討する。</p>
	実施時期	平成 22 年～
	実施主体	木津川市、木津川市地域公共交通総合連携協議会 等

⑤交通結節点・バス停等情報提供整備事業

項目		詳細
事業計画	事業概要	<p>公共交通を相互に利用する際、スムーズに乗り継ぎしやすいように案内板等の情報提供ツールを検討・整備する。</p> <p>また、サービスレベル等を変更した場合は、バス停の案内板等の内容を変更する。</p>
	実施時期	平成 21 年～
	実施主体	木津川市、木津川市地域公共交通総合連携協議会 等

⑥公共交通利用促進活動事業

項目		詳細
事業計画	事業概要	より多くの人に公共交通を利用してもらうために、公共交通ネットワーク図や時刻表を掲載したチラシ、公共交通に関する情報を掲載した公共交通だより等を作成・配布を行う。また、コミュニティバスの利用促進等に関するイベントの開催やモビリティ・マネジメントを実施する。 また、実証運行の効果把握を行うために、実態調査等による情報収集調査と分析を行う。 さらに、利用者にとって公共交通が利用しやすいように、各種企画乗車券の検討等を行う。
	実施時期	平成21年～
	実施主体	木津川市、木津川市地域公共交通総合連携協議会 等

5. 計画期間

平成21年度～平成25年度の5年間

表 事業スケジュール

事業の名称	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
木津地域 コミュニティバス 実証運行事業					
加茂地域 コミュニティバス 実証運行事業					
山城地域 コミュニティバス 実証運行事業					
コミュニティバス 車両導入・ラッピング 化事業					
交通結節点 ・バス停等 情報提供整備事業					
公共交通利用促進 活動事業					

6. その他

(地域公共交通総合連携協議会等の経過)

- 平成 20 年 5 月 28 日 第 1 回木津川市地域公共交通総合連携協議会
- 平成 20 年 6 月 23 日 第 1 回地域公共交通再編検討分科会
- 平成 20 年 7 月 7 日 第 2 回地域公共交通再編検討分科会
- 平成 20 年 7 月 28 日 第 2 回木津川市地域公共交通総合連携協議会
- 平成 20 年 8 月 18 日 第 3 回地域公共交通再編検討分科会
- 平成 20 年 8 月 20 日 第 3 回木津川市地域公共交通総合連携協議会
- 平成 20 年 10 月 3 日 第 1 回地域再生分科会
- 平成 20 年 10 月 3 日 第 4 回地域公共交通再編検討分科会
- 平成 20 年 10 月 3 日 第 4 回木津川市地域公共交通総合連携協議会
- 平成 20 年 11 月 1 日 加茂地域における木津川市コミュニティバス社会実験開始
- 平成 20 年 11 月 4 日 山城地域における木津川市コミュニティバス社会実験開始
- 平成 21 年 1 月 16 日 第 5 回地域公共交通再編検討分科会
- 平成 21 年 1 月 16 日 第 5 回木津川市地域公共交通総合連携協議会